

第十一回茶話会

延命十句觀音經
2023年4月30日

第十一回の目次

- 延命十句観音経
経文
意訳(訳：横田南嶺老大師)
和讃(作：横田南嶺老大師)
- 仏祖統紀における延命十句
- 延命十句経霊験記
- 延命十句観音経まとめ
- 観音さまの心を(著：相田みつを)

経文・意識

延命十句観音経
えんめいじゅうくかんのんぎよ

観世音
かんぜいおん

南無仏
なむぶつ

与仏有因
よぶつういん

与仏有縁
よぶつうえん

仏法僧縁
ぶつぼうそうえん

常楽我浄
じょうらくがじよう

朝念観世音
ちようねんかんぜいおん

暮念観世音
ぼねんかんぜいおん

念念従心起
ねんねんじゆうしんき

念念不離心
ねんねんふりしん

「観世音、南無仏」、観音さま、仏さまをより所ところといたします。

「与仏有因」、私達には仏さまと同じ心が具わっています。

「与仏有縁」、仏さまの教えに触れるご縁をいただいています。

「仏法僧縁」、仏さまと仏さまの教えと、仏さまの教えを学ぶ仲間によって、

「常楽我浄」、いつも変わることのないまごころ、何をしてもしも楽しい思いやり、

本当の自分に巡り会い、この世の中で清らかな心の教えに触れることができます。

「朝念観世音、暮念観世音」、朝な夕なに観音さまを念じ、

「念念従心起」、何をするにも観音さまの心、慈悲の心、思いやりの心から行きます。

「念念不離心」、そしていつも観音さまのお心から離れることはありません。

いつも観音さまと一緒にです。

延命十句観音和讃

延命十句観音和讃

大慈大悲の 観世音

生きとし生ける ものみな

苦しみ悩み ことごとく

すくいたまえと いのるなり

苦しみのぞき もろともに

しあわせいのる ころこそ

われらまことの ころにて

いのちあるもの みなすべて

うまれながらに そなえたり

ほとけの慈悲の 中にいて

むさぼりいかり おろかにも

ほとけのころ 見失い

さまようことぞ あわれなる

われら今ここ みほとけの

みおしえにあう さいわいぞ

おしえを学ぶ 仲間こそ

この世を生きる たからなり

われを忘れて ひとのため

まごころこめて つくすこそ

つねに変わらぬ たのしみぞ

まことのおのれに 目覚めては

清きいのちを 生きるなり

朝に夕べに 観音の

みころいつも 念ずなり

一念一念 なにしても

まごころよりは おこすなり

一念一念 観音の

慈悲のころを 離れざり

仏祖統紀

- 仏祖統紀（1296年成立）全54巻
著者：天台宗僧侶 志磐（しばん）
- 天台宗の立場から見た仏教史や
当時の中国の宗教史を書いたもの
- 巻37にて800年以上前の
延命十句観音経の物語が語られている

仏祖統紀 卷37

- 宋の武将、王玄謨(388-468)
- 南北朝時代の450年
南の文帝が北の太武帝(仏狸)に攻め入った時に王玄謨(南)は大敗した
- 夢枕で観世音経千遍唱えれば助かると告げられ、敗北の罪を処される際に唱えて助かった
- 後に官僚となって82歳迄生きた

下焚毀經像塔廟謝戮沙門志第四卷
二十七年王玄謨北征失律肅斌欲誅之沈慶之諫曰佛狸魏中祖小字威震天下豈玄謨所能當殺戰將徒自弱耳乃止初玄謨將見殺夢人告曰誦觀世音經千遍可免仍口授其經曰觀世音南無佛與佛有因與佛有緣佛法相緣常樂我淨朝念觀世音暮念觀世音念念從心起念念不離心既覺誦之不輟忍唱停刑後官至開府年八十二
二十九年魏文成即位大復佛法
孝武帝廢文帝子
孝建元年詔建孔子廟制同諸侯之禮○敷沙門慧

十句観音経

- 法華経28品の1つ「観音経」の代替に読まれる経典
成立年代不明（970年以前の中国？）
- 延命十句観音経（四十二字）
（略称：観音経、観世音経、十句観音経）
- もとは天台宗にて読誦、現在は広く多くの宗派で読経
- 臨済宗では白隠禅師が推奨し、日課経典に含まれる

延命十句經靈驗記

- 延命十句經靈驗記(1759年 八重葎 下卷)
著者：白隱禪師(1686-1769)

この經の功德に関する15つ程の蘇生譚・靈驗譚
經によって命を拾った数々の物語……

しかし、それら全ては絵空事
正眼をもってすれば世間の有象無象である

氣は今日より透と全快させしめ玉ふ、其御禮謝の爲には猶怠らず十句經を誦誦すべし、然らば猶々御加被力ましくて火難盜難病難なく行末いよいよ繁昌せんゆめ十句經を忘るなよと慥に御告げあるよと思へば、見し夢は覺めけるに、其日より病氣次第に全快す、是も偏へに此老師の十句經を勧め玉ひし恩徳なりと、過る十月十七日老僧が許へ使者を以て品々贈られ禮謝あり、寺中皆々見る所是又正しき靈驗ならずや、近頃深川蕎麥切屋の若者子細ありて深心に十句經を誦して奇妙の靈驗あり、此程世人所々に於て専ら評議す故に密さに茲に記せず。

如上逐一枚擧する所の限も無き十句經の靈驗、正眼に看來れば唯是世間住相有爲夢幻空華の談論取るに足らず、茲に一段真正最妙最玄最第一なる底

八重譯下の巻

の大靈驗あり、乞ふ試に之を論ぜん若夫れ真正大勇猛精進力を具する底の大丈夫見ありて、謹んて如法に一夜此經を誦持せば、未だ天明に到らざるに必定決定大靈驗ありて立所に四解煥發し、大解脱大歡喜大安樂を得ん、如何なるか是れ如法誦讀とならば是真正秘訣の大妙義なり、老僧二三十年來老幼男女を擇ばず此大事を以て指南し來るに、十が八九は大利益を得ずといふ事なし、今日に至りて力を得る者何十人といふ數を知らず、若人如法に此經を真誦せんと欲せば、一日心に竊に齋戒沐浴し、一室を鎖し、厚く坐物を敷き、端然正坐して、脊梁骨を豎起し、眞實に口には此の十句經を念誦し、心上には謹んで念頭に觀察せよ、大凡一切の人、形骸には男女あり、老幼僧俗貴賤あり、我が此臍輪氣海丹田の間は、男にあらず、女にあ

□ 真の大靈驗

此經を真誦せんと欲せば、身を清めて坐禅し、
念誦し心を觀察せよ

延命十句観音経

- 臨濟宗中興の祖：白隠禅師
- 彼の推したお経である
此の経は短く唱えやすい
観音さまの持つとても大きな功德を得られる
(火難盗難七難即滅七福即生、武運を助け養い御寿命も長遠に、家中は言うに及ばず、
天下泰平御当家御代長長久の祈祷：靈験記より引用)
- 白隠禅師の奨めた 観音経・坐禅和讃・四弘誓願文
それらと共に現代では臨濟宗のお寺で頻繁に読誦される

観音さまの心を

赤ん坊の泣き声を聞いただけで
母親には赤ん坊の気持がわかる
そのときの母親は

子供にとっては観音さまだから

母親は子供の気持になりきるから

子供の訴えがよくわかる

母親は子供の声を

ただ耳で聞いているのではない

子供の声「音」を

全身で観ているのだ

母親は子供の声「音」を観るから

子供の観音さまだ

子供の気持がよくわかり

観音さまだった母親が

子供が大きくなるにつれて

子供の気持がわからなくなる

観音さまでは

なくなってしまうからだ

なぜ……？

他人の子との比べっこ

そんとく、勝ち負け、競争心

教育投資なんていう

そろばん勘定が

母親の心を汚染してしまうからだ

世のお母さん方よ

そんとく離れた観音さまの心を

再び取り戻して欲しい

人間の作つたいまの価値観を

根底から

変えることのできるのは

いままで観音さまだったお母さん

あなた自身です

あなたにとって

一番大事な子供が

そんとく勝ち負けの

競争に疲れて

ある日突然

ビルの屋上などから

飛びおりないうちに――

飛びおりてからでは

おそいんです

参考文献

□ 祈りの延命十句観音経
著..横田南嶺

□ 相田みつをザ・ベスト
かんのん讃歌
著..相田みつを 角川文庫

□ 宗学概論
臨済宗黄檗宗連合
各派合議所二〇一六年

□ 岩波 仏教辞典 第二版

□ 総図解よくわかる仏教
日本歴史宗教研究所長
武田鏡村 新人物往来社

□ 国書データベースより
仏祖統紀
善通寺所蔵

□ 延命十句経靈驗記
お茶の水女子大学所蔵

□ 白隠広録(一九〇二年)



インド巡礼報告

山下 祥司 2023.04.30

- ・ バラナシ (ヒンドゥー教 聖地)

https://www.youtube.com/watch?v=_ldjhLEeJKQ
<https://www.youtube.com/watch?v=Tju8lV6O8Vw>
<https://www.youtube.com/watch?v=F4idlI-nxwE>



- ・ サールナート (仏教四大聖地 初転法輪)

<https://www.youtube.com/watch?v=OAQuNf5hRmY>



- ・ ブッダガヤ (仏教四大聖地 正覚)

<https://www.youtube.com/watch?v=v37auwUfP5M>
https://www.youtube.com/watch?v=WXXiO9_DBi0



- ・ ルンビニー (仏教四大聖地 誕生 ネパール)

<https://www.youtube.com/watch?v=jzGyxayKnbU>



- ・ クシナガラ (仏教四大聖地 入滅)

https://www.youtube.com/watch?v=7o_Snbk01bo



禅と茶の集い 坐禅市民サークル
(毎週金曜 18 時～千葉市中央コミュニティセンター)

<https://zencha.hatenablog.com/>

